



Subaru

男声合唱団 ニュース№537

'15. 12. 6

「昴」第10回コンサートに向けて！

12月・1月は最終“強化月間！”

本番への強い思いを実現させるために！！

12月4日

□12月4日(金)18:00より定例レッスンが行われました。佃さんの体操と伊藤さんのヴォイストレーニングのあと、第10回コンサートの第1部の全曲を通して、本並先生の指揮で、「春を待つ」「淀川三十石舟唄」(ソロ：立川さん)「初心のうた」を、伊藤さんの指揮で「林道人夫」「ゆらゆら春」(ソロ部：バス)「死んだ男の残したものは」を、最後に本並さんの指揮で「労働者はいいぞ」「スクラム広げて」「我愛你中国」をレッスンしました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全33名でした。



□舞台上立った気持ちで、全員立って1部の全曲を通して歌った後、本並先生より、冒頭の「春を待つ」から「きっちり音がはまっていない、揃っていない！」「歌い方が今までの練習で何回も約束した歌い方と違っている！」「怒鳴っている！」「淀川」「初心」は“めちゃめちゃ”。「林道」はソロはよい、各パートは自分の歌うパートのしっかり音を出して！テナー最初の”ウー” “正しい音で鳴ってない！「おお おれたちは」のT2メロディ良し！「ゆらゆら春」もう少し！「いきなり1回で歌おうとすると、聞いておれないくらいダメ！修正して2回目で良くなる。それでは駄目！演奏会本番1回でばっちり揃えられるように！」・・・間近に迫った本番に向けて、歌い手へ指揮者の厳しい注文が浴びせかけられました。

「コンサートの出だしが勝負！大事！もう1回通しだ！！」と再度



「春を待つ」から集中したレッスンが続きました。

「春を待つ」:

- ・この曲は「ことばのきれいさが表現できるかが大事！」この曲のイメージをふくらませて！
- ・「ふんわりと ゆきのつもった やまかげからー ふゆぞらがー きれいにきれいに はれわたって いるー」: 情景描写して、感じをつかんで、声に響かせて！
- ・「はれわたっている」が「は」聞こえないで、「あれわたっている」と聞こえる。慌てないでリズム・声を合わせて！ ・「ひなたほっこする まつげのさきに ぽとーー はるのひのーゆめがーさくー」はメルヘンの世界！声をメルヘンの世界へ誘って。「ぽとーー」音をしっかり鳴らせて！
- ・「はるのひのーゆめがーさくー」:「ゆ」と「め」を2つに振り分ける、「ゆー」「めー」「がー」と。「ゆ」を強く、「め」が続いて自然と出るように。「がー」鼻濁音、「さくー」の「くー」の音程しっかりと！
- ・「しみじみとー」の「し」張り上げないで、きれいな声で「しみじみとー」。
- ・「みにしむけれどーー」rit.「どーー」の音は気持ちが下降すると「どーー」も下がる。音保って消えるように、延ばす音の最後の瞬間が大事。
- ・「まっしろいゆきのやまこえてー」:「やま」怒鳴るな！あくびの声で！「てー」頑張っって延ばす！
- ・「はるはまだとおいー」:「はーる」の「はー」地声で出ている！きれいな「はー」を！最後の音が合っていない！合わせよう！！「いー」(ラ・ミ・ド・ラ)

「淀川三十石舟唄」: この曲も怒鳴らない！大人の男の声で！

- ・「ふしみくだーれーばー」から「アレサ ヨォーー45小節 エエー」きれいに合わせる！汚い響きは駄目！男声のよく響く声で、ハモレー！
- 46小節「ヤレーー」の「ヤ」で地声出す人毎回必ずいる。張り切らなくてよいから、男のいい声で！
- 54小節「よどのうわてーのー」の「よどー」は「ど」が短い。「よ」0.5拍+「ど」0.25拍+「の」0.75拍。リズム正しく、「ど」は短い。34小節「こーこはーひらかたなー」の「こーこはー」も同じリズム。
- 63小節「ここはー」「おおさかーナーー」のテナー「ここはー」は人数少ないから、しっかり出して！
- 68小節の「ヤレサヨォー」から72小節の「ヨォーォーォーエ」の掛け合いは迫力を込めて、一言一言力強く歌って！終章のp「サーアアア」へつなぐ！

「初心のうた」

- ・「初心のうた」しっかり覚えて！出だしの「どこを通ろうと星を見上げー」が大事。一つ一つの言葉を大事に、よく響かせて！
- ・最初のキーワードは「ひとりひとり」「まちやくにのしくみを」「つきとめよう」「殺し屋つくり駆り立てる、国と人の仕組みを」「つきとめよう」
- ・中音部で歌うソロのキーワード:「ひとつひとつ」「はぐるまをまきなおそう」「まちやむらではぐるまを」「まきなおそう」「かくれたかぎをさがしあて」「ゆめをうごかすはぐるまを」

「死んだ男の残したものは」

- ・1番「死んだ」の「し」は8分音符だが、長めに「し」を確認して、次の「ん」へ26小節の「のこさーなかった」の「さー」は昏い感じの音で。「さー」音広げない。
- ・2番バリトンの「しんだおんなのー」からのメロディーは切らないで、響きを途切れなく続けて歌って！
- ・4番の「死んだへいしのー」から転調して半音上がっている。
5番の「死んだかれらのー」も転調してハ長調での「ド」から「レ」へ1音上がっている。4番も5番もピアノの音をよく聴いて、音を合わせて歌ってほしい。
- ・最後の「のこっていなーい」のユニゾン音を響かせて。最後の「いなーいー」は全員ファルセット（裏声で）！！おなかで支えて！！

“「昴」第10回コンサートへの道” レッスン日等の確認

12月18日(金) 定例レッスン 18:00~

12月20日(日) 定例レッスン 14:00~15:30 運営委員会 11:00~ 特団レッスン 15:30~17:00
日中合同レッスン 17:00~18:30

2016年1月6日(水) 特別強化レッスン 13:00~15:00

1月15日(金) 定例レッスン 18:00~

1月17日(日) 定例レッスン 14:00~15:30 特団レッスン 15:30~17:00 新年会(興隆園)
運営委員会 11:00~

1月24日(日) 特別レッスン(特団含む) 14:00~ 通しレッスン(ゲネプロ)

1月29日(金) 定例レッスン(特団含む) 18:00~ 通しレッスン(ゲネプロ)

2016年1月30日(土) 昴第10回コンサート 9:00 いずみホール集合

(注記) 本番までのレッスンはこれだけしかありません。12月からのレッスンでは暗譜を前提に1曲づつを完成させる必要があります。また12月・1月は通しレッスンです。一人一人が完全暗譜に向けて毎日自宅で、そして時間の合間を縫って詞を完全に覚え、自信をもって歌い上げること！また単に暗譜で音程を合わせるだけでなく、舞台に立ったイメージで、指揮者の要求する音程・響き・詞の表現を一人一人が自分の練習でも繰り返し実行することで、本番で「昴の男声のうたごえを響かせましょう！」

(連絡事項・運営委員会報告等)

1. 「橋本さんを偲ぶ会」 12月6日(日) グリーン会館 12時集合(設営) 開会:13:30

演奏曲目:「春を待つ」「白樺」「労働者はいいぞ」「昴」

服装:赤シャツ・9条バッジ・黒ズボン

2. 「うた新まつり in 大阪」 12月13日(日) 信愛女学院 9:30 集合

9:50 男声レッスン(「スクラム広げて」暗譜で!)

10:27 男声舞台リハーサル

14:30 男声合同本番 服装:白カッターシャツ・黒ズボン

プログラム:素晴らしい企画が盛りだくさん! 見応え聴き応えがあります。桂春団治さんと池辺晋一郎氏の対談(春団治師匠は桂米朝さんの息子さん・“難波のモーツァルト” No.537(3/9))

オペラに詳しい!) また豊中混声合唱団・在阪の大学合唱団・ぞうれっしゃ・池辺晋一郎と歌う合唱団が「地球の9条・南極賛歌、奪われし初恋、アメージンググレース」ETC

(親戚・知人・友人へ、団員一人2枚のチケットを渡してください。大阪を代表する合唱団「昂」のチケットが売れていません! 団員の1週間の奮闘を期待します。ご協力ください!)

3. 映画「ソ満国境 15歳の夏」-藤後さんの歩み-上映 ドーンセンター

12月18日(金) 10:30 13:30 16:00 18:30 まだ見ていない団員は18日(金)の昂定例レッスンの前の上映を鑑賞してレッスンへ!

4. 新春関西華人大歌舞音楽会への出演

2016年1月6日(水) 国際交流センター 16:00 リハーサル 17:30 本番

昂独自の演奏曲目:「春を待つ」「美しく碧きドナウ」「Six Pence」

1月8日(金) 音楽会打ち上げ(招待) 大成閣

日中合同強化レッスン(臨時): 2015年12月23日(水) 10:00~12:00 ねむかホール

日本のうたごえ in 愛知

合唱発表会・審査員講評

合唱団名 男声合唱団昂

指揮 本並美德

ピアノ 近藤 静

2015.11.23

| 講評者 | 「春を待つ」 | 「道」 | 全体として | 評点 |
|------|---|--|-----------------|-----|
| 田中嘉治 | 男声合唱特有の迫力ある演奏です。高音部でテナー響きと音色暗くなるのが惜しい。 | 独唱よく奮闘されていますが(いい声ですよ) おお! 音をぶつけずやわらかく深く説得力あるように。 全体に低音部は鳴っているが、テナーがもっと鳴らしてくれると安定的なバランスに | | 9.0 |
| 尾高進 | 男声合唱らしいひびきがきかれます。パート単独のときに音程 etc が不安定になるところがあるのが惜しいです。 | ハモリはそれとして、フレーズの感じ(表現)がもっと出ればよくなるのでは。 | | 8.8 |
| 小村公次 | 男声合唱らしい厚い響きの中にややコトバが埋没しているところが散見される。つまり多田武彦の男声コーラスの最大の聴かせどころが、ハーモニーの厚さにあり、ハーモニーの純度を高めていくとコトバもきれいに届くと思う。 | 同様に太い声の響きだが、発声がところどころで「声を飲み込む」ような響きになっていて、それがもう少し「前」に出る響きになるといいと思う。 | | 8.2 |
| 神田豊 | ピアノ付きの曲初めて聞きました。すごい いいですね!! ブラボー ついつい聞き入ってし | 男声合唱特有のトーンがうらやましい。ソロ付きでびっくりしました。 | 赤いシャツとても good!! | 9.7 |

| | | | | |
|------|---|---|--|-----|
| 壽 | まいりました。 | | | |
| 酒井宏枝 | 安定した響き・ハーモニーで男声合唱っていいなあと感動しました。「はるのひのゆめがー」ももっと柔らかくできるかもしれない。最後はテナーちょっとふらついて惜しい。 | 男声合唱の良さが存分に出された演奏。拍手！！ダイナミックかつこいい。両ソロの方もよいお声でした。テナーの方が少しかたくてぬけきれない感もありましたが。 | | 8.9 |
| 穴戸純 | 伴奏つきの多田先生、とても新鮮です。 | Soloの方達すてきです。プロ？ | 実力もさることながら味わいある歌を歌われます。男声合唱を楽しませていただきました。ありがとうございます。 | 8.7 |
| 新実真琴 | 言葉発音がいねいにもう少しピッチ高く | カット指示。カまないように和音の響き確かめて。 | 男声(男性)らしいリリズムのあるコーラスです。 | 8.2 |

(一口レッスンメモ) (2015.5.30 6.19 レッスンより)

「なぜ？」は第10回コンサート「第2部」の後半、林光作品のひとつ、語りかけ響かせましょう！！

「なぜ？」 林光 作詞・作曲

| | |
|-------------------|---------------------|
| 溶けてよじれた 一升びん | 十日ののちにやってくる その日を待たず |
| あなたたちの東の間の宴のあと | あなたたちは |
| とっくに底をついた このクニの台所 | べつのおそろしい光に 灼(や)かれた |
| やっとな手に入れた酒くみかわし | |
| あなたたちは何を語りあったのか | クニとナマエとコトバをとりもどした |
| | あなたたちの兄弟は |
| 禁じられた母のコトバを | だが このクニで まだ |
| きょうばかりはおもいきり話したか | 本当の安らぎを得てはいない |
| むりやり捨てさせられたナマエで | |
| たがいに呼びあったのか | 溶けてよじれた 一升びんは |
| うばわれたクニを思い | わたしたちにうったえる |
| クニをとりもどすその日を夢みたか | 溶けてよじれた 一升びんは |
| | 溶けてよじれた 一升びんは |
| その日は<光よみがえる祭り> | わたしたちをといつめる・・・ |
| タイコとどろきカネがひびき | なぜ？ |
| 白い服が蝶のように | |
| 町を村を舞い踊る・・・ | |

No.537(5/9)

組曲「生命の木、空へ合唱 児童合唱、ピアノのための」

作詞・作曲 林光

1. 木は空を

2. なぜ？

3. 天の火

4. 道の歌

5. 敗戦のこども

6. あらゆるものの中に

「被爆からよみがえった1本の木
溶けてよじれた数本の1升瓶
高温で焼かれて表面がガラスで覆われた瓦
制服・靴・学校鞆・手をつけられないまま炭化した弁当箱
爆死したカトリック信者たちの洗礼名が刻まれた墓石
広島と長崎の遺物・遺品がこもごも語るものがたり」
(「BOOK」データベースより)

1987年に初演された合唱組曲

”音楽は、〈核〉にたいして物理的には無力であるが、人びとの祈りとねがいを代弁し、行動へと誘うくらいのちからはあるのだ。”(初演時の、作曲者のメッセージより)

この歌(「なぜ?」)は、広島・長崎の被爆者の遺品の中にあつた溶けた一升瓶から、在日韓国・朝鮮人の人たちを思い作られた歌である。

○この曲は一つ一つの言葉を語りかけるように、丁寧な音、響く音で。強く歌うというのではなく、大事に響かせて。また詞の一つ一つにつく助詞は大きい音量で出しがちだが、横にではなく縦の声で、添えるように歌うこと。きれいな声でつながないと台無しになる。(指揮者より)

とけてよじれた いっしょうびん
あなたたちのつかのまのうたげのあと
とっくに底をついた このくにのだいどころ
やっと手に入れたさけくみかわし
あなたたちは何をかたりあつたのか

「とけてよじれた」:「とけて」の「け」は横に広がらないで!縦に! 「て」は大きくならない!

「いっしょうびん」:何回も出てくる言葉。「いっ」の詰まる「っ」は「い」に付けて早目に「いっ」という。

「うたげのあとー」:「とー」は3拍しっかりと響かせて次の「とっくに」へつなぐ。

「とっくに底をついた このくにのだいどころ」:

リズムしっかりと、

「とっくにー」:「と」をはっきりと「にー」切らないで次に繋げて、大きく歌わずしっかりと No.537(6/9)
響かせて、「そこ」「このくに」「だいどころー」をはっきりと

「やっ」と手に入れたさけくみかわし」:

「やっ」とは言いすぎないで、響かせて。「てにいれた」の「た」は添えて、切らないで次の「さけー」に続く。

「あなたたちは何をかたりあったのか」:

「なにをー」: のぼして丁寧に響かせて!

「かたりあったのかー」: 「かたり」の「か」、「あった」の「あ」の2つの音の響き大切に響かせて! 「かたり」をあまり強く言わない。「りー」で音程落ちないで! 上向きに響かせる。

「あった」の「あっ」が強く、「た」は強く言わないで添えて。

「かー」は4拍しっかり延ばして響かせて!(5拍目で止まる)ここはあまりクレシェンドにしないで、普通の音量で、しっかり響かせる!

(mp) 禁じられたははのことばを
きょうばかりはおもいきり話したか
むりやり捨てさせられたナマエで
たがいによびあったのか

(mf) うばわれたクニを思い
クニをとりもどすその日をゆめみたか

「禁じられたははの」からは、まだmpではじまり、「うばわれたクニを思い」でmfでクレシェンド! まだfにならない。次の「その日はく光よみがえる>~」でfへと盛り上がっていく。

一つ一つの言葉を大事に!

「きんじられた」: “きいんじられた” としっかり響かせて! “られた” 強く歌わない!

「ははのー」: 「はは」は地声はダメ! もっと素敵に“ははあ”で! 「のー」は大きく入らない!

「コトバーをー」: 「バーをー」は強くしない、「コト」が主で「バー」は添えるように! 「日本語の自然な表現で! 「をー」はしっかり延ばして!

「きょうばかりはおもいきりはなしたかー」: 「きょうばかりは」は音程しっかりと保って! 「きょう」と「は」は同じ音の「レ」(レドドドレミミシシードドーラーラシー)「かー」でしっかり延ばしてクレシェンドへ!

「むりやりすてさせられたなまえでー」: 音程しっかり確保! 「なまえでー」の「でー」の音シ(上パート)と#ファ(下パート)。「すてさせられた」の「す」ははっきりと

「たがいによびあったのか」: 「たがいによび」でクレシェンドで入っていくが、最初から大きくしないで、弱く入って、「よびあったのかー」と後ろへ行くほどクレシェンドで!

「うばわれたクニを思い クニをとりもどすその日をゆめみたか」: テンポ遅れがちだから、少し早めに歌っていこう!

「クニをとりもどす」からクレシェンド、「クニ」「とりもどす」「そのひ」ははっきりと!

「ゆめみたかー」しっかり響かせて! きれいな声で押し出すように!

その日はく光よみがえるまつり>
タイコとどろきカネがひびき
白い服が蝶のように
町を村を舞い踊る・・・

「その日は」から曲想は変わる！明るく軽快なリズム(調子)に乗って！

「祭りータイコー」：「りー」のあと八分休符無しで「タイコー」と入るくらいに遅れないで！「～舞い踊る」までリズムに乗って言葉遅れないように！

日本語の言葉の一つ一つを聴き手に伝えるように自然な響きで、はっきり出して！

助詞「その日は」の「は」、「カネが」の「が」、「白い服が」の「が」、「蝶のように」の「に」、「街を村を」の「を」は大きく歌わず、小さく添えて、

「おどるー」でしっかりと響かせよう！「るー」音延ばして、きれいな響きで！

「しろいふくがー ちょうのように まちをむらをまーいおどる」：音程しっかりと確保して！

ドドシシーラー#ファラー シラララー#ファーミー (上)#ド#ドミ#ドーシーラ#ファ ミ#ファラ
(下)#ソ#ソ#ソラー#ファーレー

(上)シーシー ラー

(下)ミー#ファラー (「まーい」と「おどるー」は音程同じ「ミ#ファラ #ミファラー」)

十日ののちにやってくる その日を待たず
あなたたちは べつのおそろしい光に灼(や)かれた

「とおかののちにやってくる その日を待たず」：

「とお」の「お」のときに次の「か」の音を高さとともに準備する。「とお」のほうが大きく「日」は小さく。

「のちーに」：「の」を言い直す。「にー」で音程落ちないように！（「ミソラーララソミー」）

「やってくる」の「て」は大きく言わないで、添えるように。

「またずー」：「ま」と「ずー」は同じ高さ。「ずー」が落ちて聞こえる。（「ミソミー」）しっかりと音支えて！

しっかりと3拍延ばして

「あなたたちは べつのおそろしい光に灼(や)かれたー」：

「べつの一」を切らずに「おそろしい」へ。「の一」響かせて！

クレシェンドへ、少しずつ音量を上げて、「おそろしい」と。「お」は縦の「お」で響かせる。

「ひかりにやかれたー」：一言ずつ大事に、「ひ」「か」「り」「にー」「や」「か」「れ」「たー」

さいごの「たー」は表情のある、感情のこもった「たー」で！ ディクレシェンドへ！

3拍しっかりと延ばす。

クニとナマエとコトバをとりもどした

あなたたちのきょうだい

だが このクニで まだ 本当のやすらぎを得てはいない

「クニ」の「ク」、「ナマエ」の「ナ」、「コトバ」の「コ」、「とりもどした」の「と」、「きょうだい」の「きよ」をはっきりと！「とりもどし」「あなた」「きょうだい」の一語一語をはっきりと！強く出すのではなく、大事に表現する。

それぞれの言葉の添える助詞は大きく言わない。添えるように表現する。（「クニと」の「と」、「ナマエと」の「と」、「コトバを」の「を」）

「コトバをー」の「を」をしっかり4拍延ばして、

「きょうだいはー」：3拍しっかりと延ばして、最初の「きょうだい」からすぐ大きくしないで、

はー」に入ってからクレッシェンド。

No.537(8/9)

「だが」：響かせて！「(う) だあがー」くらいに表現！

「まだー」：響かせて！「やすらぎを」：響かせて！「やすらぎを」の「らぎを」は小さめの声で！
「えてはいない」の「え」響かせて！腹で保って

とけてよじれた いっしょうびんは
わたしたちにうったえる
とけてよじれた いっしょうびんは
とけてよじれた いっしょうびんは
わたしたちをといつめる・・・ なぜ？

最初の「とけてよじれた いっしょうびんは」の「はー」しっかり3拍延ばす。

「わたしたちに うったえる」

「うっ」：大きく、「う」を大事にはっきりと！

「た」「え」「る」のそれぞれを縦に響かせて！

「る」は入り際から大きくしないで、「る」の途中からクレッシェンドへ！

「とけてよじれた いっしょうびんは

とけてよじれた いっしょうびんは」

2回目の「とけてよじれたいっしょうびんは」からしっかりと大きく響かせて！息の送り方は出たり入ったりでなく、声に息の圧力をずっとかけて歌うこと。

3回目の「とけてよじれたいっしょうびんは」もしっかりと歌う！強調して！「いっしょうびん」から dim (ゆっくりと)。

「わたしたちをといつめる・・・ なぜ？」

「わたしたち」の「わ」は音が低いから、しっかりおなかで支えて声を出す。

「といつめるー」の「るー」クレッシェンドだが「るうろうう」最初の4拍はまだ小さく、次の4拍で爆発する！

「なぜ？」の前で「ウウ」（と言わないが）2つ分入れてから、最後の「なぜ？」：問い詰める感情が圧縮していつて「なぜ？」と言う！

山本 力さん写真ギャラリー



原発が再び動かないことを祈る

先日 11 月 29 日に機会があつて福井県おおい町、高浜町に行ってきました。